

第 86 回日本体力医学会中国・四国地方会

プログラム

- ・期 日：令和3年6月12日（土）
- ・開催方法：Web開催（Zoom使用） 開催方法が変更になりました。

○ プログラム

令和3年6月12日（土）

09:00～09:30	幹事会
09:55～10:00	挨拶
10:00～10:47	研究発表（第1セッション）
10:47～11:00	休憩
11:00～11:59	研究発表（第2セッション）
11:59～13:00	休憩
13:00～13:59	研究発表（第3セッション）
13:59～14:20	休憩
14:20～15:30	シンポジウム「これからの健康づくり支援のあり方 ～コロナ禍における健康づくりから考える～」
15:30～16:00	総会

【研究発表プログラム】

研究発表 [10:00~13:59] (発表8分, 質疑応答3分)

第1セッション (10:00~10:47) 座長: 田中 弘之 先生 (鳴門教育大学大学院)

10:00~10:11

演題1: 高度換算 1,500m の周期的低圧低酸素環境下における中高齢者の持久性運動中の生理応答特性

○西村 一樹 (広島工業大学)

10:12~10:23

演題2: 笑い同定のための心臓自律神経活動解析を鑑みた心電図・脈派の分析

○山田 美裕宇 (岡山県立大学大学院)

10:24~10:35

演題3: 歩行機能をサポートする杖の開発

○小川 隆 ((株) 小川長春館)

10:36~10:47

演題4: 搬送器材の違いが垂直避難時における要援護者の生理応答および不安感に及ぼす影響

○玉里 祐太郎 (広島工業大学)

〈休憩 10:47~11:00〉

第2セッション (11:00~11:59) 座長: 原 丈貴 先生 (島根大学)

11:00~11:11

演題5: A大学の体育系部活動における緊急時対応計画の作成状況

○吉岡 哲 (関西福祉大学)

11:12~11:23

演題6: 新型コロナウイルス感染症の流行が幼児の生活習慣と体力に及ぼす影響

—Aこども園での分析結果—

○松本 希 (就実短期大学)

11:24~11:35

演題7: 地方都市在住成人の2020年の歩数: 33ヶ月間連続装着に基づく縦断歩数情報解析

○綾部 誠 (岡山県立大学)

11:36~11:47

演題8: 日常身体活動に対する充足感と身体活動量の関係

○森村 和浩 (就実大学)

11:48~11:59

演題9: 高脂肪食とストレス負荷がマウスの活動性に及ぼす影響

○渡邊 知央 (川崎医療福祉大学大学院)

〈休憩 11:59~13:00〉

第3セッション (13:00~13:59) 座長：小柳 えり 先生 (川崎医療福祉大学)

13:00~13:11

演題10：自走運動がOLETFラットの肥満に伴う褐色脂肪組織の白色化と炎症性サイトカインの発現に及ぼす影響

○藤田 直人 (広島大学大学院)

13:12~13:23

演題11：自走運動が肥満を有するOLETFラットの筋委縮に及ぼす影響

○西平 美鈴 (広島大学大学院)

13:24~13:35

演題12：若齢期の運動と脱トレーニングが肥満ラットにおける褐色脂肪組織の白色化に与える影響

○高石 果歩 (広島大学大学院)

13:36~13:47

演題13：アルギニンの摂取がラット骨格筋のmTORC1活性化に及ぼす影響

○神崎 圭太 (川崎医療福祉大学)

13:48~13:59

演題14：がん悪液質に伴う筋タンパク質合成抵抗性の分子機構

○宮崎 充功 (広島大学大学院)

〈休憩 13:59~14:20〉

14:20~15:30

シンポジウム

「これからの健康づくり支援のあり方～コロナ禍における健康づくりから考える～」

司会：吉岡 哲 (関西福祉大学)・山口 英峰 (吉備国際大学)

1：新型コロナウイルスについての現状と対策について

○依田 健志 (川崎医療福祉大学)

2：コロナ禍と身体不活動

○幸 篤武 (高知大学)

3：新型コロナウイルス感染症と運動・スポーツ—運動免疫学の視点から—

○矢野 博己 (川崎医療福祉大学)

4：ネガティブな気分を打開するひとつの手法としての呼吸運動

—東日本大震災後の支援経験から—

○高橋 康輝 (東京有明医療大学)

15:30~16:00

総 会

○ 学会参加費について

学会参加費：無料（第1報から変更となっています）

○ 健康運動指導士・健康運動実践指導者の方へ

第1報では、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として申請予定とお伝えしておりました。しかしながら、第86回地方会としましては、開催地岡山県に新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されたことを受け、開催へ向けての準備等、変更せざるを得ない事情が生じました。大変残念ではございますが、この度は認定単位申請を見送ることとなりました。どうかご了承のほどよろしくお願いいたします。

○ 一般発表について

- ・発表時間は、発表8分、質疑応答3分の計11分とします（第一報から変更となっています）。
- ・発表は、「Zoom」を使用し、プレゼンテーション画面を共有して行っていただきます。
- ・発表に関する詳細については、別途、メールにてご連絡いたします。

▼学会誌「体力科学」への投稿原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は、地方会事務局がとりまとめ、学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従いE-mailにて**6月18日(金)【必着】**までに地方会事務局へお送りください。なお、筆頭著者が非学会員の場合、抄録掲載料は1演題あたり3,000円となります。

【提出原稿書式】

- 1) 演題名、発表者氏名、所属機関名、本文の順にお書きください。
- 2) 演題名、発表者氏名、所属機関名を含む文字数が、900字以内になるよう作成してください。
- 3) 図表は認められません。

掲載原稿送付先：jpsfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp（地方会事務局）

○ 問い合わせ先

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8

吉備国際大学 社会科学部 スポーツ社会学科 山口 英峰

TEL：0866-22-9056 E-mail：hide@kiui.ac.jp